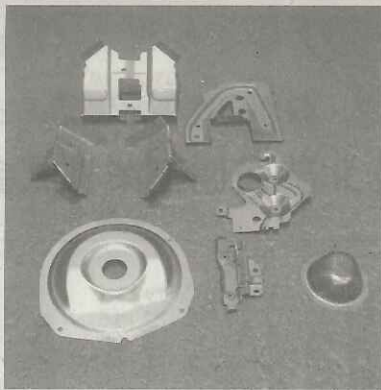


REGIONAL ECONOMY



「1〜2年内をめぐりに新しい放電加工機を導入して金型の加工精度を高め、そのノウハウを部品加工に生かす」。井上精密（大阪府豊中市）の井上潤一郎社長は主力の自動車向けプレス金型の加工技術を生かし、金属部品加工事業の拡大を狙っている。10年後をめどに金属部品などの売上

金属部品加工を拡大

井上精密

高比率を現状の約1割から4割に引き上げ、売上高は約2・5倍の1億円とするのが目標。工作機械などの設備稼働率を高めて利益率の向上も目指す。新しいワイヤカット放電加工機を導入することで、金型の高精度・短納期化が可能になる。狙うのは、需要増が見込まれる電気自動車（EV）の給配電部品であるバスター向け金型の受注だ。さら

らも需要が旺盛な半導体向け部品などが狙い。新たな顧客獲得のため、展示会などの営業機会を増やし、自社の加工精度をアピールすることで、小規模の金型メーカーで課題となる設備稼働率の向上につなげ、収益体質の強化を図る考えだ。

高精度金型ノウハウ生かす

独自の枠組み「マッチングラボ」を生かして企業を呼び込む。佐賀県に拠点がある佐賀工業（東）は新日本無線（東京都中央区）子会社。自社の佐賀製作所（佐賀県吉野ケ里町）で半導体製品の組み立てや試験を行う。開設した「センシングモジュール統合設計ラボ」では

有明高専のマッチングラボ制度は20年にスタート。校内の地域共同テクノセンターに研



産学連携マ... ASK イノベーションラボ

勝機をつかめ！ 地域のグッドカンパニー

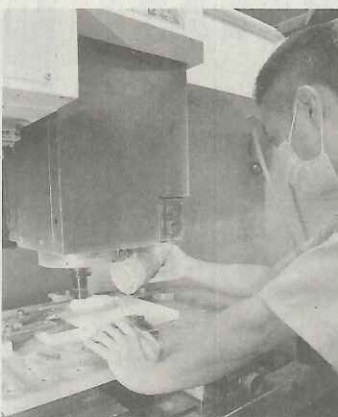
海外売上高比率20%へ

藤電気

藤電気（大阪市淀川区、並木秀幸社長）は、電気絶縁材料の専門商社として創業し、熱硬化性樹脂やFRP（繊維強化プラスチック）製の部品加工も手がける。2020年はコロナ禍の影響で鉄道向けなどが落ち込む一方、住宅設備や物流機器向けは好調に推移。並木社長は「工場の自動化が進み、ロボット

熱可塑性樹脂製品拡販

アームやマテハン機器を滑らかに動かす部材として熱可塑性樹脂の需要が増えた。今後、加工技術を向上させた（同）と見て、マレールと力を込める。まずは外部セミナーなどを活用した社員教育に力を入れ、「積極的に受注がとれる体制を整えたい」（並木社長）との方針。外注先



の協力企業と連携を深めつつ、自社設備の活用方法も検討する。一方、海外高比率は現状の5%を20%に伸ばし、マレールシア工場は増強も検討する。（随時掲載）

案でできるソフトウエア「3D医療施設デザイン」の販売が好調だ。2021年3〜5月の売り上げが前年同期比50%増に伸び。特にコロナ禍でリモート営業が進む、医療機器メーカーへの導入

リモート営業 医療施設のデザイン



「現在いが急増する」（開村美有紀）と「（開）続き同ソフトに力を

経営革新計画 承認

大分県・3件 【大分】大分県は中小企業等経営強化法に基づき、3件の経営革新計画を承認した。承認企業とテーマは次の通り。

▽協栄工業（大分市）情報共有化による顧客提供価値の向上と労働生産性向上による事業拡大に向けた体質強化▽大津留量店（同）薄層への対応による、商品提案力を生かした売り上げ拡大および生産性向上▽窪田酒店（中津市）地元食材を使用した時短「みそしるの素」の販路開拓事業

【宮崎】宮崎県は中小企業等経営強化法に基づき、3件の経営革

万全の新型コロナ対策

この安心感、自宅以上かも。

西日本